



DRV110は、フローティングまたはカソード・グラウンドで動作します。アノード接地のダイオードを駆動するためにDRV110を使用しないでください。

電流は、CURRENTトリマーで設定し、メカニカル・スイッチで有効／無効にできます。

DRV110-A-1200の場合、電流制限は、ILIMジャンパーの位置(HまたはL)に応じて、1250 mAまたは500 mAです。

DRV110-A-750の場合、電流制限値は800mAまたは400mAです。

DRV110-A-375の場合、電流制限値は400mAまたは200mAです。

### 端子説明

- ・LD+: レーザーのアノードをこの端子に接続してください。レーザーのカソードはGNDに接続してください。

- ・VCC: 電源入力端子です。最大電源電圧は19.5Vです。最小電源電圧は $V_{min} = R_{sense} \times I_{laser} + 1V + V_{laser}$ で、 $R_{sense}$ はDRV110-A-375では10Ω、DRV110-A-750では5Ω、DRV110-A-1200では2.5Ωです。DRV110を $V_{min}$ よりも1V以上高く駆動すると、性能が向上せずに消費電力が増加します。

- ・DIS: 2V～5Vの電圧を印加して、レーザー電流を無効にします。

- ・IMON: 電流監視端子。このピンの電圧は、レーザ電流に比例し、電流がILIMジャンパーで定義された電流制限に達すると300 mVに達します。